

除夜の鐘のおはなし

「除夜の鐘って、何のためにつくの?」

除夜の鐘は「今年一年に積み重ねてきた煩惱を払うためにつく」と思われがちですが、宗派によつて考え方に違いがあるようです。

一念寺は浄土真宗本願寺派のお寺です。浄土真宗の開祖である親鸞聖人は「正像末和讃」に「無明煩惱しげくして 塵数のごとく遍満す 愛憎違順することは 高峰岳山にことならず」とお示しです。「煩惱は無数のチリのように私に満ちている。その煩惱によつて、愛するものには執着し、そうでないものには憎しみを持つてしまふ。そんな私の心の凸凹としたすがたは、まるで高く切り立った山のような意味です。「煩惱の数は百八個」と聞きますが、親鸞聖人は百八どころではなくチリのように多いと仰るのです。大晦日に鐘をついたくらいでは払えなうにありません。

それどころか、親鸞聖人はご自身のことを煩惱成就・煩惱具足の人間だと思つめていかれました。煩惱がない潔白な私に、煩惱がひつついてくるのではなく、私自身が煩惱で成り立っている、というのが浄土真宗の人間観です。

では、なぜ鐘をつくのでしょうか?

『大無量寿経』というお経には「響流十方」と説かれています。「どんなに煩惱がみちたあなたでも必ず救うという救いの教えが、大きな音のように世界中に響きわたる」という意味です。お寺の鐘の音もまた、響流十方の音として聞くのが良いのでしょうか。

仏さまの教えは、救いを知らせると同時に煩惱の満ちた私のすがたを知らせてくれます。だからこそ、いつ暴走するかわからない煩惱をずっと抱えて新年も生きていくのだなと意識して、煩惱を抱えたもの同士、できる限り仲良く幸せに生きていけるように一歩一歩、ともに歩んでいきましよう。

南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

一念寺の
インスタグラム
フォローしてね



 Instagram



金剛山一念寺 (浄土真宗本願寺派)
〒569-0062 大阪府高槻市下田部町一丁目二ー二〇
電話 : 072-671-6091
メール : takatsuki1nenji@gmail.com